

# オーエスキー病の浸潤地域

## 清浄県:37都道府県

うちH20年の清浄化事業開始以降の達成県:6都県

○東北地方(3県)

青森県(H23)、秋田県(H20)、岩手県(H21)

○関東地方(2都県)

東京都(H24)、山梨県(H27)

○九州地方(1県)

熊本県(H22)

〔 野外抗体陽性豚の飼養が確認されている県:4県 〕

〔 野外抗体陽性豚の飼養が確認されていない県:6県 〕

## 浸潤県(清浄化取組):10県

○東北(2県)

宮城県、福島県

○関東(6県)

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県

○九州(2県)

宮崎県、鹿児島県

☆浸潤県においては、  
県内の地域毎にステータスを決定。

平成28年6月21日現在

# オーエスキー病の地域区分及び清浄化段階(ステータス)

平成28年6月21日現在

都道府県	地域区分数	清浄化段階(ステータス)毎の地域数				
		I	II・前期	II・後期	III	IV
全国	914	0	14	154	107	639
浸潤県 (10県)	681	0 (0.0%)	14 (2.1%)	154 (22.6%)	107 (15.7%)	406 (59.6%)
東北地方	114	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.3%)	108 (94.7%)
宮城	46	0	0	0	4	42
福島	68	0	0	0	2	66
関東地方	348	0 (0.0%)	8 (2.3%)	80 (23.0%)	65 (18.7%)	195 (56.0%)
茨城	68	0	2	28	21	17
栃木	76	0	0	0	24	52
群馬	63	0	0	19	12	32
埼玉	37	0	1	13	3	20
千葉	79	0	5	13	4	57
神奈川	25	0	0	7	1	17
九州地方	219	0 (0.0%)	6 (2.7%)	74 (33.8%)	36 (16.4%)	103 (47.0%)
宮崎	66	0	0	20	16	30
鹿児島	153	0	6	54	20	73
清浄県(37都道府県)	233	0	0	0	0	233

I : 清浄化対策準備段階(清浄化の体制作りを行っている地域)

II・前期: 清浄化対策強化段階・前期(地域防疫協議会が設置され、ワクチン接種を推進している地域)

II・後期: 清浄化対策強化段階・後期(全ての農場が飼養豚全頭へのワクチン接種を継続し、検査による清浄性確認をすすめている地域)

III: 清浄化監視段階(全ての農場についてワクチン接種を中止し、検査による清浄性確認をすすめている地域)

IV: 清浄段階(清浄化を達成した地域)